

事業者と連携して
食品ロス・プラごみを削減するには？

小牧市 カーボンニュートラル推進課

12



普段の業務・取組

脱炭素・環境政策
資源の循環に関すること

「現状の課題」と「テーマ設定の理由」

まだ食べられる食品の廃棄や、使い捨てプラスチックごみが、日常の中で大量に発生している。こうした問題の解決には、事業者だけの努力では限界がある。利用する私たち一人ひとりの行動も、大切なカギとなる。

検討内容

- ・若者が参加したくなる仕組みは？
 - ・お店もお客さんも損しない方法は？
 - ・楽しみながら続けられる取組って？
- 身近なお店から、SDGsを広げよう！

SNSで若者に 市政情報を届けるには？

小牧市 広報広聴課



普段の業務・取組

広報活動
広聴活動

「現状の課題」と「テーマ設定の理由」

若者の市政への関心は低い一方で、SNSは日常的によく利用されている。自治体は情報を発信しているが、若者に十分届いていない場合が多い。そのため、市政への参加や関心が広がりにくくなっている。今後は、若者に届きやすい発信方法を工夫することが必要である。

検討内容

- ・思わず見たくなる投稿って？
- ・若者同士で広がる仕組みは？
- ・行政っぽくない伝え方って？
- あなたなら、どうやって市の情報を届ける？

温泉に入る理由がない人に 来てもらうには？

天然温泉こまき楽の湯



普段の業務・取組


小牧市郷中で営業している温浴施設の運営

「現状の課題」と「テーマ設定の理由」

現在、温浴施設は日常的に利用する人と、まったく利用しない人の二極化が進んでいる。若い世代では生活スタイルや価値観が変化し、「お風呂に入る場所」としての魅力だけではなく、入浴以外の楽しみ方や過ごし方を増やし、温浴施設を“居場所”や“体験”として考え直すことが重要。特に、普段利用しない人の視点から、新しい価値や来店のきっかけを生み出すことが求められている。

検討内容

- ・温浴施設に行かない理由は何か？
 - ・どんなイベントや空間があれば行ってみたいくなるか？
 - ・今の若者にとって居心地の良い場所とは何か？
 - ・SNSで発信したくなる体験とは何か？
- 「行きたい！」と思える場所や体験と一緒に考えよう！



BtoB企業として当社の魅力を 一般の方にどのように伝えるか？

(BtoB企業とは一般消費者ではなく「企業」を対象に商品やサービスを提供する企業)

住友理工株式会社

8

最新の情報
を伝える



9

最新の情報
を伝える



普段の業務・取組

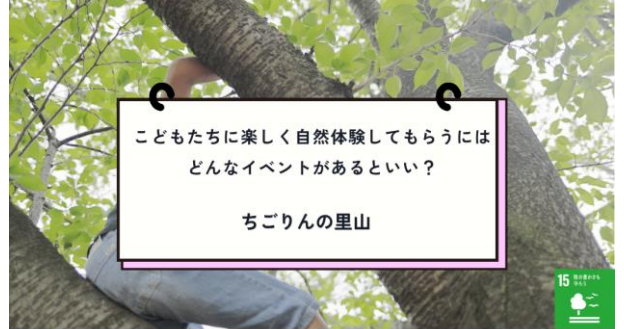
自動車用部品(防振ゴム、ホース、制動音品・内装品ほか)および
一般産業用部品(精密樹脂ブレード・ロール、防振ゴム、高圧ホースほか)の製造・販売

「現状の課題」と「テーマ設定の理由」

BtoB企業は一般向けのCMなどを行う機会が少なく、企業の名前や魅力が知られにくい傾向がある。
また、認知度向上はすぐに売上につながるものではないため、大きな予算をかけにくいという課題もある。
さらに、完全子会社化によって今後は企業の露出が減ることも予想されている。
そのため、できるだけコストを抑えながら、多くの人に企業を知ってもらう工夫が必要である。

検討内容

- ・実際にHP(サステナビリティサイトも含む)をみてどう思った？
 - ・企業さんのどんな情報が気になる？
 - ・効果的なPR方法の検討や情報発信の検討
- 若者目線で、企業の魅力発信をアップデートしよう！



こどもたちに楽しく自然体験してもらうには
どんなイベントがあるといい？

ちごりんの里山



普段の業務・取組

- ・ちごりんの里山の整備
- ・木を切ったり森で遊ぶ体験
- ・ミツバツツジの観察会

「現状の課題」と「テーマ設定の理由」

これまで近隣の小学校と連携して探究学習を行っていたが、
学校の統廃合により来年度以降の活動は未定。

そのため、これまで活用していた0.6ha(サッカーフィールド程度)の区域についても、
今後の使い方を改めて考える必要がある。

検討内容

- ・小学生に喜んで参加してもらうにはどんなイベントが楽しそう？
 - ・自然体験を通じてどんな学びを得てほしい？
- こどもたちが「また参加したい！」と思える企画を考えよう！
(任意で希望者には現場見学予定)

若年層が行きたい、居たいと思える
『居（ごこちのよい）場所』とは？

摂食障害よりみち



普段の業務・取組

- ・摂食症当事者・ご家族の相談等の回復支援、交流会開催
- ・摂食症啓発啓蒙普及・予防啓発

「現状の課題」と「テーマ設定の理由」

摂食症(摂食障害)はSNSの普及以降、若年層の発症が増加している。
摂食症は精神疾患であるが、病の有無に限らず心の部分について
話せる・共有できる場所が必要

検討内容

- ・若年層が心を許して安心できる
- 第3の居場所(サードプレイス)とはどのようなものか？
- あなたにとって「ほっとできる場所」はどんな場所？

《サードプレイスとは自宅(ファーストプレイス)や職場・学校(セカンドプレイス)とは異なる、居心地/の良い「第3の場所」のこと》